

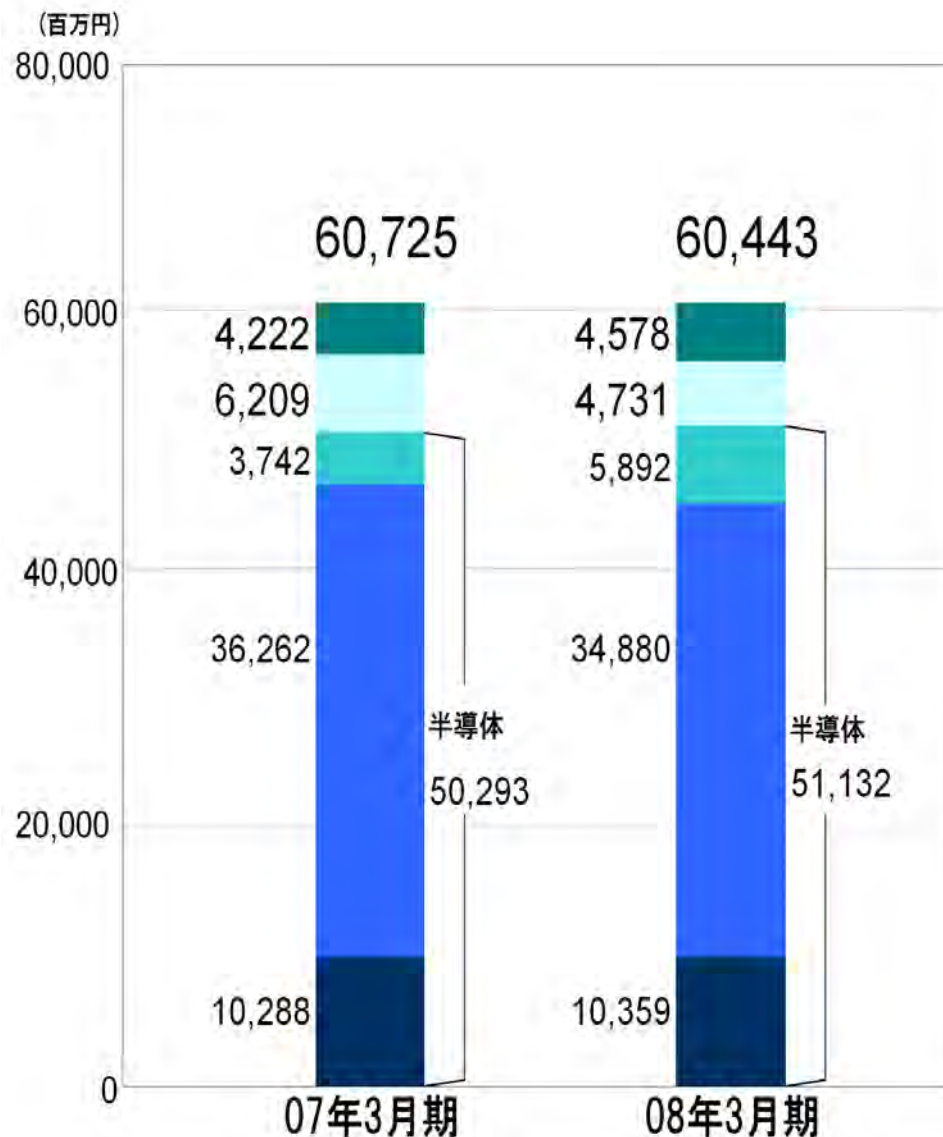


2008年3月期 決算説明会

新日本無線株式会社



連結売上高の推移



(前年度比)

全体 $\Delta 0.5\%$

■ マイクロ波管・周辺機器
+8.4%

□ マイクロ波応用製品
 $\Delta 23.8\%$

半導体 +1.7%

■ 半導体デバイス +57.5%

■ バイポーラ $\Delta 3.8\%$

■ MOS +0.7%

連結損益計算書



(百万円)	07年3月期	08年3月期	増減率
売上高	60,725	60,443	△ 0.5%
売上原価	47,295	47,533	
販売費・一般管理費	11,590	11,367	
営業利益	1,839	1,541	△ 16.2%
営業外損益	△ 32	△ 499	
経常利益	1,807	1,042	△ 42.3%
特別損益	933	△ 119	
税金等調整前純利益	2,740	923	
当期純利益	1,721	434	△ 74.7%

*2007年3月期において、当社の退職金及び退職年金制度変更による退職給付債務の減額分(993百万円)を特別利益に計上いたしました。

マイクロ波関係の状況



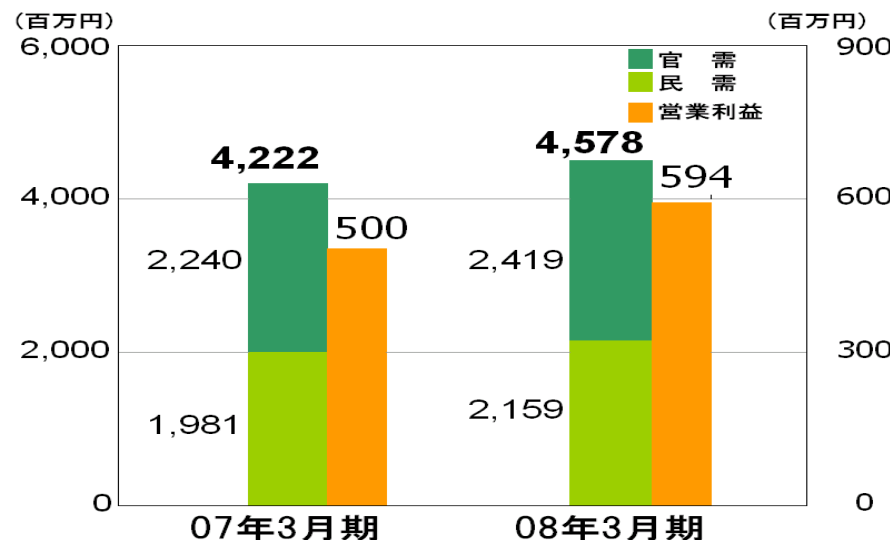
マイクロ波管・周辺機器 増収増益

売上高：前年度比 +8.4%

営業利益：前年度比 +18.7%

官需：大型電子管好調

民需：船舶レーダ向け好調



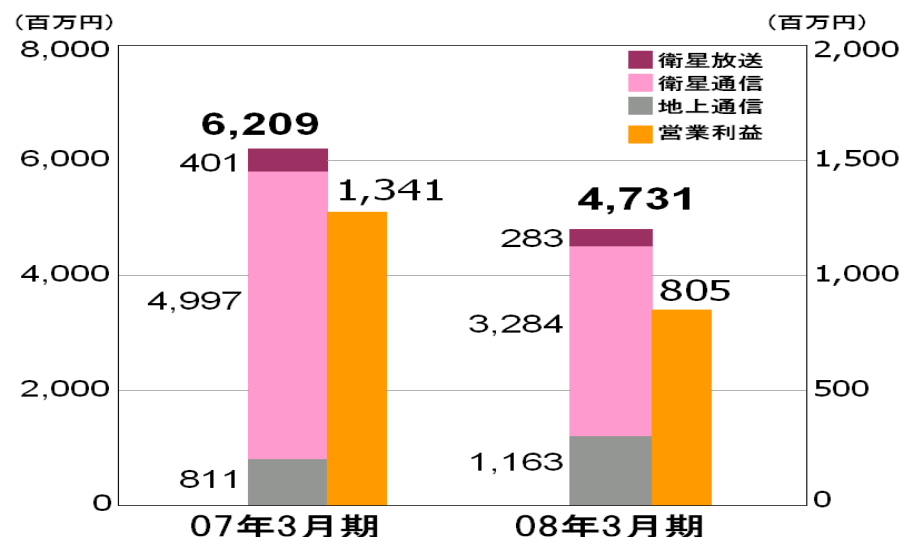
マイクロ波応用製品 減収減益

売上高：前年度比 △23.8%

営業利益：前年度比 △39.9%

衛星通信：市場沈静化による減少

地上通信：国内地上デジタル放送関連
機器向け好調



(注) 営業利益は配賦不能営業費用(5,910百万円)
控除前の営業利益

2008/5/16

半導体の状況(1)



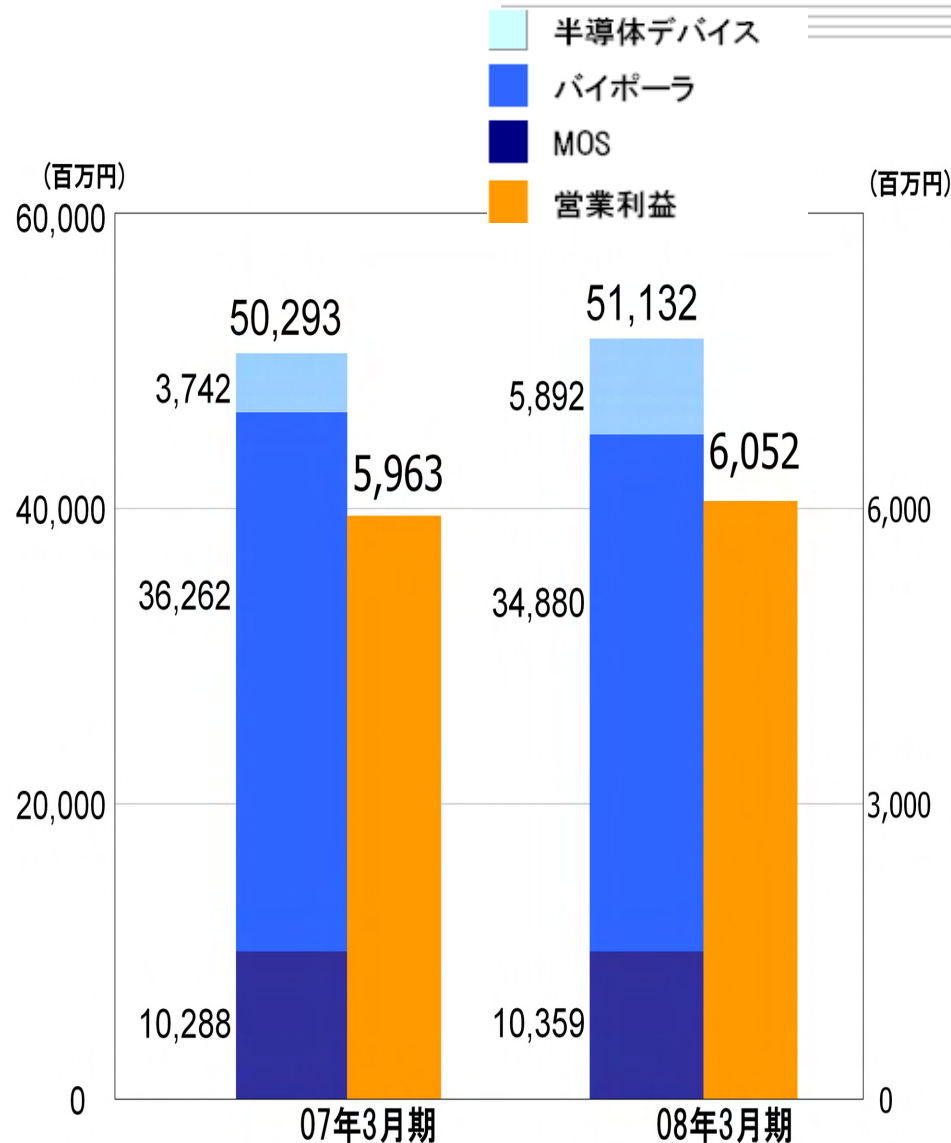
半導体 増収増益

売上高：前年度比 +1.7%

営業利益：前年度比 +1.5%

半導体デバイス 好調	+ 57.5 %
光半導体デバイス	+ 43.5 %
マイクロ波デバイス (GaAs IC)	+ 63.0 %
バイポーラ 微減	△ 3.8 %
電源用IC	+ 6.9 %
オペアンプ・コンパレータ	△ 3.7 %
オーディオ用IC	△ 11.8 %
受託生産販売	△ 13.6 %
MOS 前年度並	+ 0.7 %
電源用IC	+ 38.2 %
DSP	+ 44.6 %
オーディオ用IC	△ 21.3 %
水晶発振器用IC	△ 10.1 %

(注) 営業利益は配賦不能営業費用(5,910百万円)控除前の営業利益

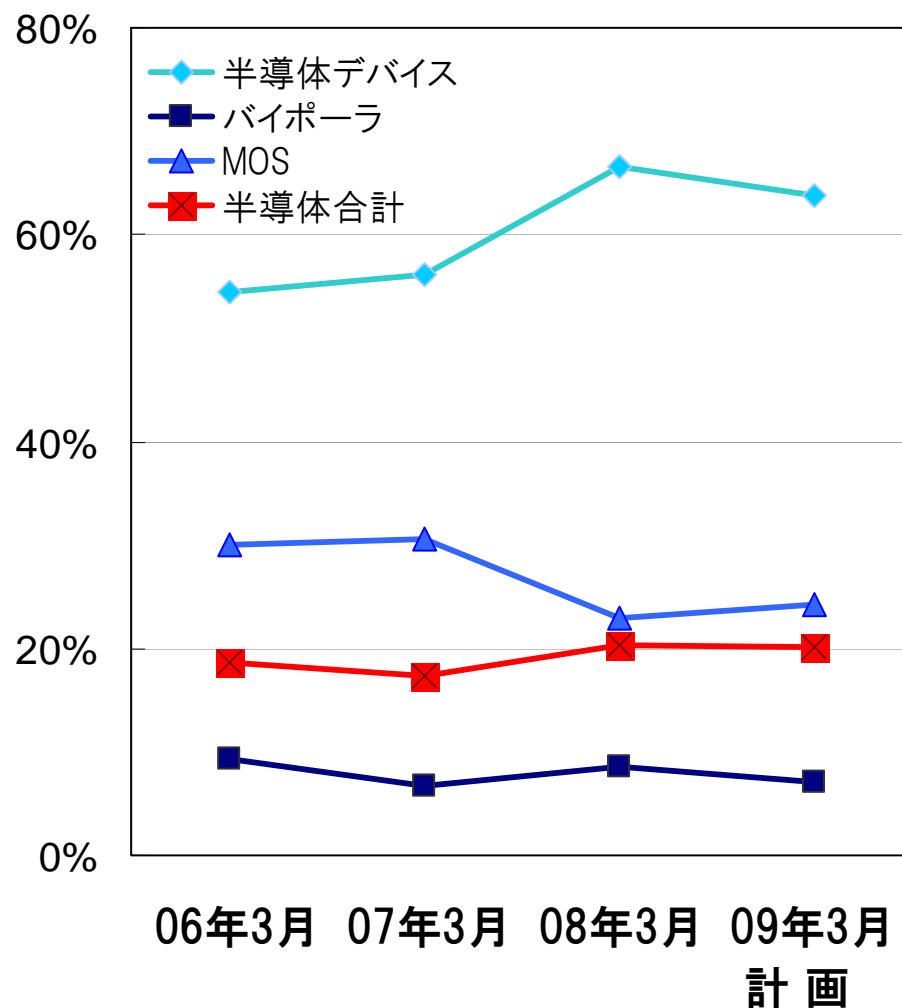


半導体の状況(2)

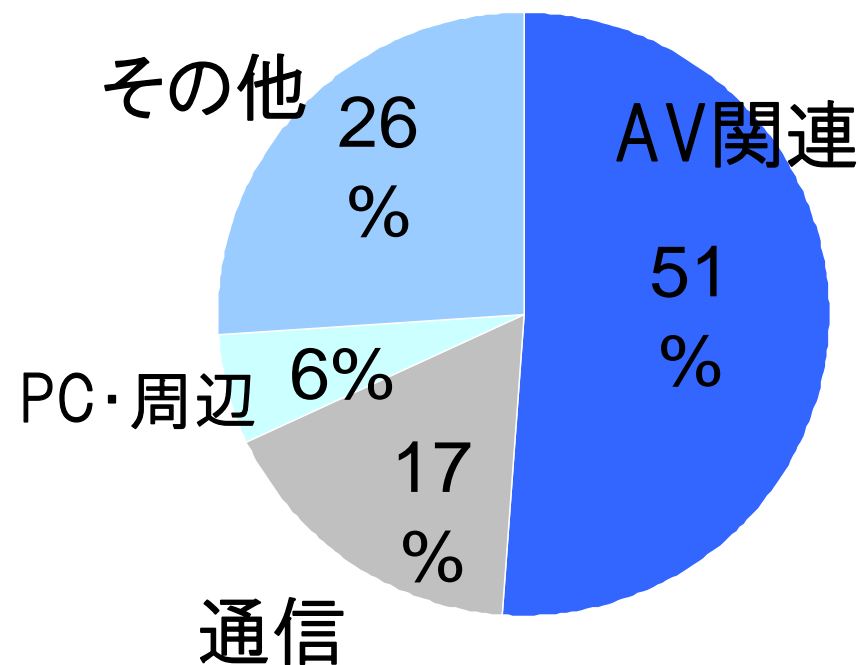


<個別>

新製品販売比率



販売分野別状況 (08年3月期)



連結設備投資等実績



(単位: 百万円)	07年3月期	08年3月期	増減率
設備投資	3,477	4,173	20.0%
減価償却費	3,885	4,734	21.9%
研究開発費	6,182	6,098	△1.4%

連結貸借対照表



(単位:百万円)	07年3月期	08年3月期	増 減
資産 計	60,361	58,076	△ 2,284
流動資産	37,913	36,145	△ 1,767
固定資産	22,448	21,931	△ 517
有形	15,615	14,840	△ 774
無形	318	604	285
その他	6,514	6,485	△ 28
負債 計	34,376	32,553	△ 1,822
流動負債	24,687	23,247	△ 1,440
固定負債	9,688	9,306	△ 381
純資産 計	25,985	25,522	△ 462

A decorative horizontal bar at the top of the page, split into a grey left half and a black right half. Below the black portion are several thin, parallel white lines.

2009年3月期 事業計画

連結売上計画(事業部門別・全社)



(前年度比)

全体	+1.7%
マイクロ波管・周辺機器	△9.4%
マイクロ波応用製品	△11.9%
半導体	+4.0%
半導体デバイス	+16.4%
バイポーラ	+1.7%
MOS	+4.6%

2009年3月期 通期計画の概要



連結売上高 61,500百万円(前年度比 1.7%増)

前年度比

マイクロ波管	△9.4%	官公需販売減、民需販売増
マイクロ波応用	△11.9%	衛星通信用コンポーネント販売減
半導体	+4.0%	
半導体デバイス	+16.4%	GaAs IC、光半導体デバイス販売増
バイポーラ	+1.7%	電源用IC、オーディオ/ビデオ用IC販売増 受託生産販売減
MOS	+4.6%	オペアンプ/コンパレータ、モータ用IC、 ビデオ用IC、DSP販売増 水晶発振器用IC販売減

※計画上の為替レート:105円/US\$

2009年3月期 連結損益計画



(百万円)	08年3月期 実績	09年3月期 計画	増減率
売上高	60,443	61,500	1.7%
売上原価	47,533	48,800	
販売費・一般管理費	11,367	11,500	
営業利益	1,541	1,200	△ 22.2%
営業外損益	△ 499	0	
経常利益	1,042	1,200	15.1%
特別損益	△ 119	△ 100	
税金等調整前純利益	923	1,100	
当期純利益	434	700	60.9%

連結設備投資等計画



(単位:百万円)	08年3月期 実績	09年3月期 計画	増減率
設備投資	4,173	4,061	△2.7%
減価償却費	4,734	4,952	4.6%
研究開発費	6,098	6,664	9.3%

顧客密着度向上

- ・営業、商品企画、設計・技術の
各部門連携強化と顧客密着度UP
(08年4月 機構改革実施)
- ・顧客近接設計拠点活用
大阪デザインセンター
シンガポールデザインセンター
- ・子会社 恩結雅(上海)貿易有限公司 設立
(08年1月)

重点市場における製品開発



A V 機 器	デジタルAV機器 デジタル信号処理IC(DSP) オーディオ用IC 高性能電子ボリューム(EVR) 世界トップクラスの超高音質アンプ ビデオ用IC ハイビジョン対応広帯域ビデオ用IC
産 業 機 器	高精度・高速オペアンプ
車 載	汎用ICに加え 専用ICも
通 信	GaAs IC : 携帯電話機、PHS、ゲーム機用に加えPNDやWiMAX向け等製品拡大



産業機器向け半導体製品



高精度オペアンプ

品名 \ 特性	オフセット電圧	高温安定度
NJM2729	60 μ V max.	0.9 μ V/ $^{\circ}$ C max.
NJU7098	15 μ V max.	0.05 μ V/ $^{\circ}$ C max.
(参考) NJM4558	6000 μ V max.	保証なし

NJM2729
高精度オペアンプ



高速オペアンプ

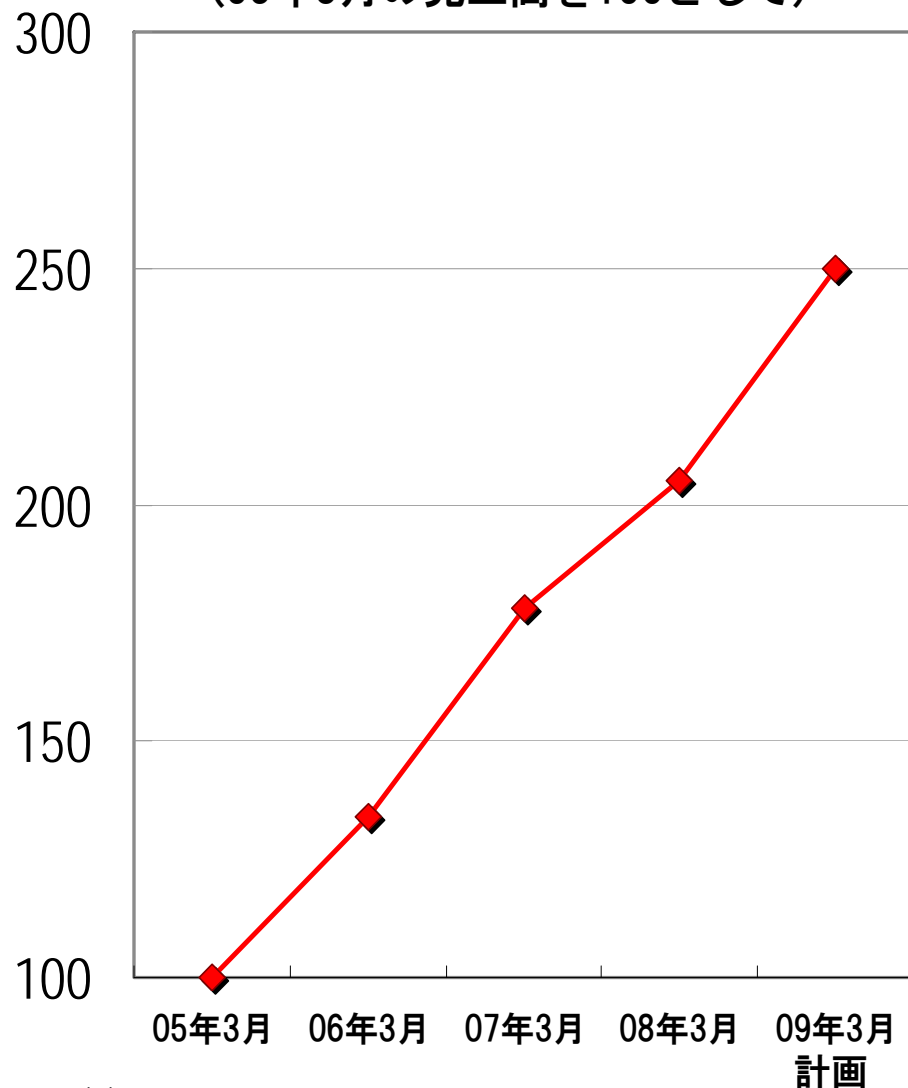
品名 \ 特性	スルーレート	動作電源電圧
NJM2716	40 V/ μ s	15 V
NJM2727	250 V/ μ s	30 V
(開発中) NJM2723	2000 V/ μ s	30 V
(参考) NJM4558	1 V/ μ s	30 V

主応用分野: 計測器やセンサー向け

車載用半導体製品



車載用半導体製品の成長性
(05年3月の売上高を100として)



- ・ISO/TS16949
(自動車産業向け国際品質規格)
グループ会社へ展開
前工程製造子会社(NJR福岡)
後工程製造子会社(THAI NJR)
- ・国内大手自動車メーカーの
コアサプライヤー
- ・車載用システム電源ICの
研究・開発
- ・アナログマスタースライスの開発

電源用IC

パワーマネジメント

- ・ 高耐圧化、大電流化製品の開発
- ・ MCP(Multi-chip Package)による高精度システム

電源用ICの開発

(子会社 佐賀エレクトロニクス(株)による短TAT)

GaAs MMIC

- ・ 低歪、低雑音、高ESD耐性という強みを活かした開発
- ・ アプリケーションの拡大を目指した開発

ワイドギャップ半導体デバイス

・特徴

- 1 高耐圧、高電力特性
- 2 高温の状況下で使用可能

・開発中デバイス

SiC : MESFET

GaN : SBD、ヘテロ接合FET

・応用分野

パワー応用 : 電源等

高周波応用 : 各種レーダ等

MEMS (Micro Electro Mechanical Systems)

電気的かつ機械的な機構を半導体製造技術の応用により、ひとつのシステムとしたデバイス

- ・研究開発のねらい

微細加工技術とアナログ回路技術を融合させ高付加価値製品へ展開

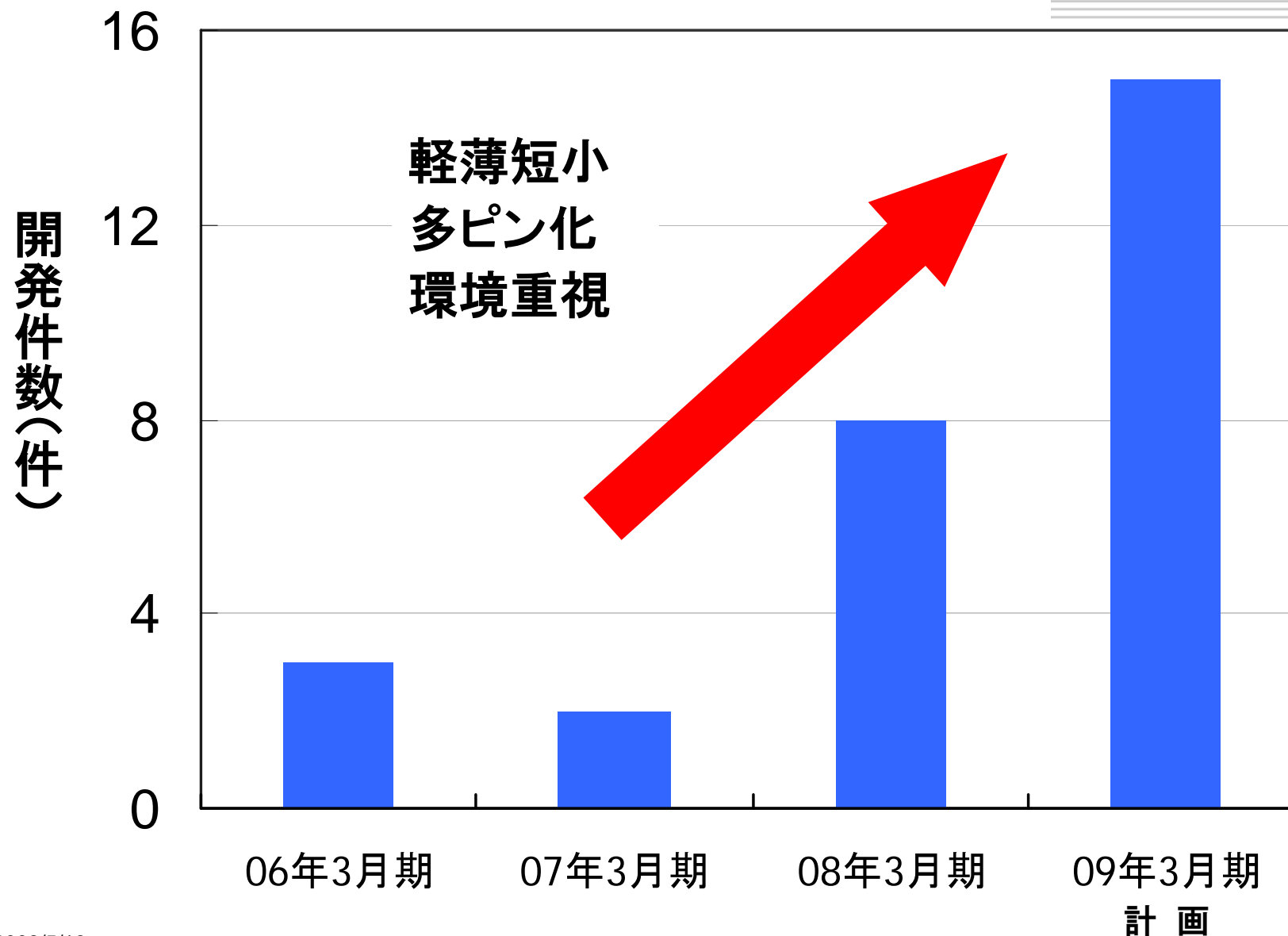
- ・応用分野

各種センサー(車載用等)、マイクロフォン等

ミリ波デバイス

- ・開発中デバイス
ガンDx、VCOモジュール
- ・応用分野
車載用
各種センサー応用

新パッケージ開発件数の推移



グループ全体としての取組(1)



・品質経営

- ・製品品質向上のみならず設計・販売・購買機能の向上

社内教育の徹底による品質重視ポリシーの浸透促進

- ・ISO/TS16949品質システムをグループ会社へ展開中

- ・生産子会社間のネットワーク強化

グループ内で生産革新運動や品質改善活動を水平展開

トヨタ自動車(株)(広瀬工場)様から品質優秀賞受賞
(2008年4月)

対象品種:車載用オペアンプ、電源用IC

対象期間:2007年4月から2008年3月まで

・環境経営

海外子会社も含めたグループ全体へ展開
環境配慮製品の開発

製品設計の初期段階から環境保全に配慮
当社保有パッケージの全てについてハロゲンフリー化
を推進（2009年度 完了予定）

<製品事例>

照度センサー
NJL7502R・L

有害物質がミウム不使用(RoHS指令対応品)



HDTV用入力インターフェース
ハロゲンフリー対応品

NJW1322



企業理念と企業像



新日本無線

私たちの使命
Corporate Mission

社会の期待と顧客の期待の適合における
中心的役割を果たすことによって
健全な社会成長の一助となる

独自の「マイクロエレクトロニクスとマイクロウェーブ」技術を軸とした
最適部品の提供を通してコーポレートミッションを実現する

新日本無線のチャレンジ — 2017年の企業像

私たちの未来
Our Vision 2017

- アナログIC事業、デジタルIC事業、化合物半導体事業
マイクロ波製品事業それぞれが
世界に通用するブランドとして確立しています
- 躍動感のある若々しい会社とイメージされています

顧客: 業界トップクラスの総合的OCDEGの提供によるご満足を実現しています

株主: 企業の社会的責任の遂行によるご満足を実現しています

取引先: 一級取引先であることによるご満足を実現しています

従業員: 成長の喜びにつながる高い知名度によるご満足を実現しています

地域社会: 地域の活性化につながる前向きな活動によるご満足を実現しています

会社概要



創 立	1959年(昭和34年) 9月	
	日本無線(株)より半導体、マイクロ波技術を継承した部品メーカーとして創立	
沿 革	1991年11月 株式公開	
	2000年10月 東証第 2 部上場	
	2002年 9月 東証第 1 部上場	
	2005年12月 親会社の異動 旧:日本無線(株) 新:日清紡績(株)	
資 本 金	5,220百万円(日清紡績(株)出資比率 59.6%)	
従業員数	連結 3,197 名(08年3月末現在)	
グループ会社 (連結子会社9社)	半導体製造会社(前工程) : 1 社(福岡)	
	半導体製造会社(後工程) : 3 社(佐賀・秩父・タイ)	
	半導体販売会社 : 4 社(国内・シンガポール・米国・中国)	
	業務受託会社 : 1 社(国内)	
売 上 高	2008年3月期	50,050 百万円 (連結 60,443百万円)
	2007年3月期	49,497 百万円 (連結 60,725百万円)

本資料ご使用に当たり



- この資料に記載されている業績予想数値は、現時点で入手可能な情報をもとにした当社における推測・予測に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。実際の業績は、様々な要因により、これらの予想数値とは大きく異なる場合があります。予めご承知の上、ご利用下さいますようお願い申し上げます。

本日は、ご清聴ありがとうございました。

新日本無線株式会社